

2019年度  
第2四半期(上半期)報告  
説明資料

2019年11月22日

 朝日生命保険相互会社

# 2019年度第2四半期(上半期)報告のポイント

- ▶ 保険業績(新契約)は、経営者向け保険を除き順調に伸展しました。
- ▶ 基礎利益は、予定利息の減少等による逆ざや額の改善により増加しました。

## 2019年度の上半期の取組みについて (トピックス)

### 営業職員チャネル

- 新契約業績は、経営者向け保険の一時販売停止の影響を受け前年を下回るも、経営者向け保険を除く保障性商品の販売は好調に推移。
- 営業職員数・中核職員数※は、保険業績の伸展や育成効率の向上により増加。 ※一定以上の資格を有するコア営業職員数
- 2019年10月に生活習慣病保険をバージョンアップした「7大疾病一時金特約」を発売。

### 代理店チャネル

- 2019年4月に改訂した引受基準緩和型医療保険「スマイルメディカルスーパーワイド」が好評につき、業績は大幅に伸展。



### 介護保険新契約件数

- 当社が注力する介護保険の新契約件数は、前年同期比144.9%と大幅に伸展。



### その他の取組み

- 2019年4月に、お客様サービス体制の強化・大規模災害時における事業継続体制の強化に向け、福岡総合サービスセンターを開設。
- 2019年9月より、健康分野におけるDeNA社との共同取組みの第1弾として、お客様向け健康増進アプリ「kencom×ほけん」の提供を開始。
- 2019年11月に、フィッチ・レーティングスによる当社格付けが2ノッチ格上げされ「BBB+」となりました。

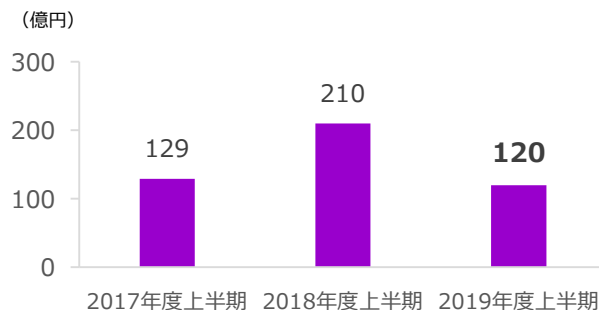


# 1. 業績の状況(個人保険・個人年金保険)

- ◆ 新契約年換算保険料は、経営者向け保険の影響により、前年同期比57.3%となりました。うち第三分野については前年同期比121.3%と大幅に伸展しました。
- ◆ 消滅契約年換算保険料(解約+失効+減額-復活)は、前年同期比107.8%となりました。
- ◆ 保有契約年換算保険料は、前年度末比98.9%となりました。

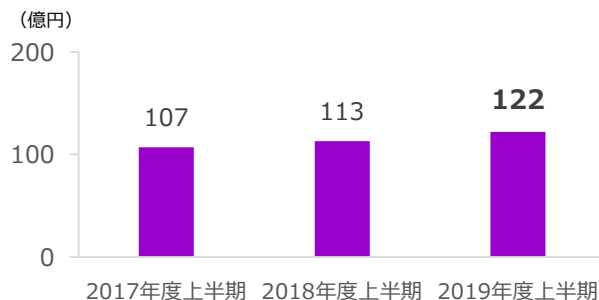
## 新契約の状況

区分	2017年度上半期	2018年度上半期	2019年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料	129億円	210億円	120億円	57.3%
うち新規契約	107億円	192億円	101億円	52.8%
うち転換純増加	21億円	18億円	19億円	105.2%
うち第三分野	109億円	82億円	100億円	121.3%



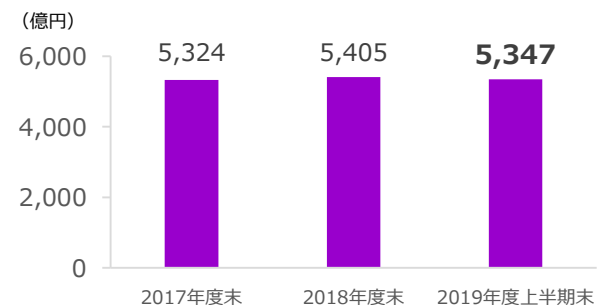
## 消滅契約の状況

区分	2017年度上半期	2018年度上半期	2019年度上半期	
			前年同期比	
消滅契約年換算保険料 (解約+失効+減額-復活)	107億円	113億円	122億円	107.8%
うち解約・失効契約	97億円	104億円	112億円	107.9%
対年度始消滅率	2.00%	2.13%	2.26%	+0.13ポイント



## 保有契約の状況

区分	2017年度末	2018年度末	2019年度上半期末	
			前年度末比	
保有契約年換算保険料	5,324億円	5,405億円	5,347億円	98.9%
うち第三分野部分	2,063億円	2,102億円	2,124億円	101.1%
構成比	38.8%	38.9%	39.7%	+0.8ポイント

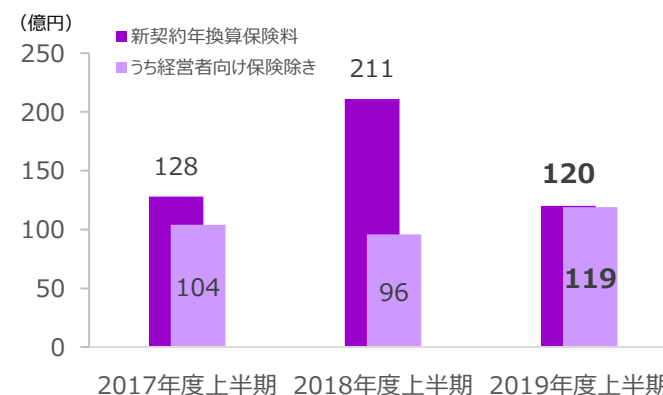


## 2. 保障性商品の業績の状況

- ◆ 保障性商品の新契約年換算保険料のうち営業職員チャネルは、前年同期比46.0%と減少しました。代理店チャネルは、前年同期比152.1%と大幅に増加しました。  
なお、うち経営者向け保険除きでは、前年同期比123.9%と大幅に伸展しました。
- ◆ 保障性商品の保有契約年換算保険料は、前年度末差△7億円と減少しました。なお、経営者向け保険除きでは前年度末差8億円増加しました。

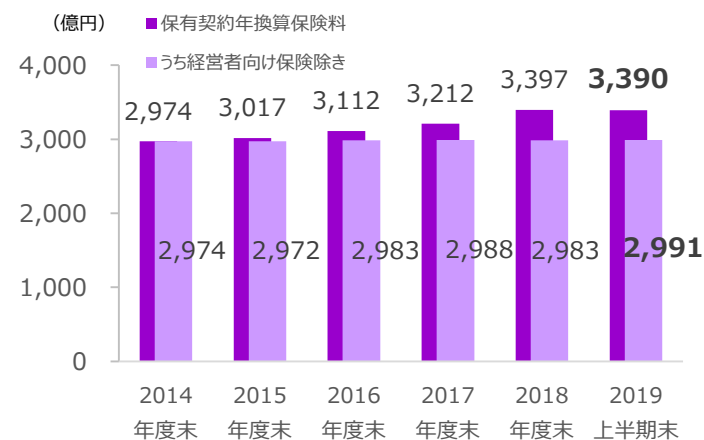
保障性商品の新契約の状況

区分	2017年度 上半期	2018年度 上半期	2019年度上半期	
			前年同期比	
新契約年換算保険料	128億円	211億円	120億円	57.3%
うち営業職員チャネル※1	106億円	188億円	86億円	46.0%
うち代理店チャネル	22億円	22億円	34億円	152.1%
うち経営者向け保険除き※2	104億円	96億円	119億円	123.9%



保障性商品の保有契約の状況

区分	2017年度末	2018年度末	2019年度上半期末	
			前年度末差	
保有契約年換算保険料	3,212億円	3,397億円	3,390億円	△7億円
うち営業職員チャネル※1	3,100億円	3,255億円	3,223億円	△31億円
うち代理店チャネル	111億円	142億円	167億円	+24億円
うち経営者向け保険除き※2	2,988億円	2,983億円	2,991億円	+8億円



※1 営業職員チャネルには、代理店経由での法人契約を含みます。

※2 経営者向け保険のグランドステージ、プライムステージを除く。

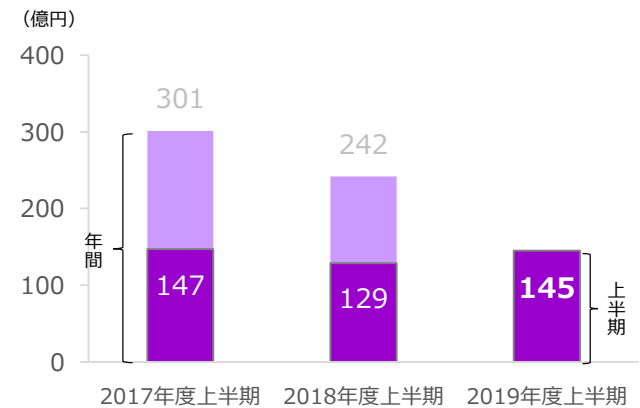
(注) 保障性商品とは、貯蓄性商品を除く、死亡保障および医療保障・介護保障・代理店で販売している無配当団体医療保険等の第三分野の合計です。

### 3. 収支の状況

- ◆ 基礎利益は、145億円となり、前年同期と比べ15億円増加しました。
- ◆ うち、保険関係損益は、402億円と前年同水準となりました。
- ◆ 利差損益(逆ざや額)は、前年同期と比べ19億円改善しました。

#### 基礎利益の状況

区分	2017年度上半期	2018年度上半期	2019年度上半期	
			対前年同期増減	
基礎利益	147億円	129億円	145億円	+15億円
保険関係損益	453億円	406億円	402億円	△3億円
利差損益(逆ざや額)	△305億円	△277億円	△257億円	+19億円



#### <参考①> 保険料等収入の状況

区分	2017年度上半期	2018年度上半期	2019年度上半期	
			対前年同期増減	
保険料等収入	1,888億円	1,968億円	1,955億円	△13億円

#### <参考②> 経常利益・中間純剰余の状況

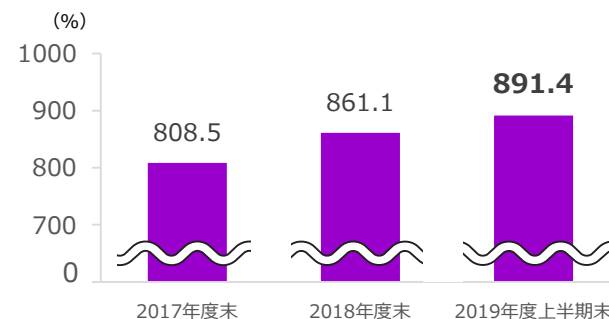
区分	2017年度上半期	2018年度上半期	2019年度上半期	
			対前年同期増減	
経常利益	330億円	236億円	260億円	+24億円
中間純剰余	247億円	179億円	194億円	+15億円

# 4. 財務の状況

- ◆ ソルベンシー・マージン比率は、前年度末に比べて30.3ポイント上昇し、891.4%となりました。
- ◆ 実質純資産額は、前年度末に比べて887億円上昇し、11,412億円となりました。

ソルベンシー・マージン比率の状況

区分	2017年度末	2018年度末	2019年度上半期末	
			対前年度末増減	
ソルベンシー・マージン比率	808.5%	861.1%	891.4%	+30.3ポイント



実質純資産額の状況

区分	2017年度末	2018年度末	2019年度上半期末	
			対前年度末増減	
実質純資産額	9,882億円	10,524億円	11,412億円	+887億円



<参考> 有価証券の含み損益  
有価証券の含み損益の状況【一般勘定】(有価証券のうち時価のあるもの)

区分	2017年度末	2018年度末	2019年度上半期末	
			対前年度末増減	
有価証券全体	4,510億円	5,089億円	5,800億円	+711億円
うち国内株式	1,521億円	1,309億円	1,342億円	+33億円
うち国内債券	3,091億円	3,474億円	3,767億円	+293億円
うち外国証券	△123億円	298億円	668億円	+370億円
うちその他の証券	△10億円	△25億円	△11億円	+13億円

# 【参考】中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「TRY NEXT～成長を実現し、未来を創る～」における経営戦略目標の進捗

◆ 中期経営計画における経営戦略目標の各項目実績については、2020年度目標達成に向けて順調に推移しています。

経営戦略目標の進捗状況

		2020年度目標	2019年度9月末の状況	2018年度始 (中期計画スタート時)
お客様数	個人のお客様数	258万名	254.3万名	251.8万名
	企業のお客様数	4.3万社	4.1万社	3.9万社
保障商品の保有契約 (年換算保険料)		3,470億円	3,390億円	3,212億円
	うち個人保険※	2,830億円	2,750億円	2,732億円
介護保険	新契約件数	9.8万件	5.1万件	—

※経営戦略目標における個人保険とは、保障商品のうち、営業職員が個人のお客様に販売した保険と個人マーケット向け代理店が販売した保険の合計です。